

## 第 26 回ドイツ語教授法ゼミナール開催のお知らせ

この度、新型コロナウイルスの新たな変異株の世界的な感染拡大に伴い、招待講師の Kleppin 教授をドイツから招待できなくなりました。しかし、国内の感染状況から、ゼミナール自体は予定通り現地で開催することとなりました。以下、変更点を記載いたします。

- ・ゼミナールは、対面形式（3 日間）とオンライン形式（90 分程度）の二部に分けて行います。
- ・Kleppin 教授は、一部のプログラムにオンラインで参加します。
- ・他者との接触をできる限り減らすため、日程を 3 日間へ短縮します。対面形式の部分では、様々なテストフォーマットについて集中的に学びます。また、他参加者と課題に取り組み、その結果を Kleppin 教授と共に振り返ります。
- ・対面形式の部分を実施後、別の機会を設けてオンラインで Kleppin 教授からのフィードバックや質問への回答を頂きます。

総合テーマ：Prüfen, Testen, Evaluieren – Ansätze für Praxis und Forschung

日程：2022 年 3 月 19 日（土）～3 月 21 日（月）~~3 月 22 日（火）~~

招待講師：Prof. Dr. Karin Kleppin ([講師プロフィール](#))

Germanistisches Institut der Fakultät für Philologie, Universität Bochum

会場：多摩永山情報教育センター ([Google Maps](#))

<https://www.tamanagayama.com/>

参加費：29,000 円 ~~38,000 円~~（日本独文学会会員の学生・院生，非常勤講師の方には参加費補助を検討しています）

定員：40 名

参加申込締切：2022 年 1 月 25 日 ~~2021 年 12 月 15 日~~

参加申込：<https://www.daf-seminar.jp> よりお申し込みください。

- ※ 参加は申し込み順に受け付けますが、最終的な選考は日本独文学会理事会で決定いたします。
- ※ 日本独文学会会員以外の方が申し込む際は日本独文学会会員（学生・院生の申し込みの場合は指導教員）の紹介が必要です。紹介者の氏名をお知らせください。また他に、略歴，参加希望理由（ドイツ語で 150 語程度），業績表（研究業績がある方）を申込時に提出してください。参加費は 39,000 円 ~~48,000 円~~です。



## ゼミナール内容：

テストおよび試験は外国語教育において欠かすことができないものです。学習の進捗や定着度合いの確認、そして学校教育全般においては主に成績評価の土台となっています。そのため、教師の重要な役割の一つには、適切な試験の課題を作成することが挙げられます。しかしながら、それぞれの言語能力をどの程度正確に測ることができるのでしょうか。また特定の学習者層にとって意義のあるテスト形式とはどのようなものなのでしょうか。あるいは、どのように試験そのものを評価することができるのでしょうか。第 26 回ドイツ語教授法ゼミナールでは、このような疑問点について考えていきます。

ゼミナールの前半では、まず試験・テスト・評価の領域にかかわる基礎的な知識の獲得が中心となります。特に、可能な限り自然な、且つ対象となる学習者にとって重要な文脈における言語的活動を測るための試験を設定する可能性について探ります。それに続き後半では、さまざまな部分的能力（読む、聞く、書く、話す、あるいは翻訳や通訳などの言語仲介）を測るための「良い」独自の試験課題を作る際に必要な段階についても扱います。例えば、テストの全体構成の設計、問題形式や設問文の設定、そして産出型の課題における評価基準の設定、学習者に適したフィードバックの考案についてです。

また、実際に授業に関連したテスト課題を作成し、それについての意見交換を行います。ゼミナール全体として、将来参加者自身が試験やテストを作成する際の示唆を得ることを目指すだけではなく、独自の研究プロジェクトへの発展へとつながるような議論も行います。

## 招待講師について：

Karin Kleppin 氏（Bochum 大学教授）は、外国語教育におけるテスト考案の分野においての第一人者であり、世界中で試験作成に関する研修やセミナーを通して教師をサポートされています。TestDaF の考案にも参与され、また長年、ベルリン・フンボルト大学の教育品質改善研究所（Institut zur Qualitätsentwicklung im Bildungswesen）と共同でテスト問題の開発にもご尽力されています。

ドイツ語教授法ゼミナールでは、日本で教鞭をとるドイツ語教員間で、お互いの授業や試験の実践的経験について議論を深めることも目的としています。ゼミナールの参加において、予備知識は必要としません。ドイツ語教育以外のさまざまな学問分野を背景にご活躍されている方や、過去に教授法ゼミナールに参加したことのない方もぜひお申込みください。

ゼミナール中に、テーマに関連する研究発表（ドイツ語で 15 分程度）を希望される方は、参加申し込みの際に「研究発表希望」と記し、発表題目と発表要旨（250 語

程度)を添付してください。なお、発表者の最終決定は実行委員会にご一任ください。

第26回ドイツ語教授法ゼミナール実行委員会

Olga Czyzak (実行委員長)

Cezar Constantinescu, Frank Nickel, 村元麻衣, 坂本真一, 武井佑介, Nancy Yanagita, Manuela Sato-Prinz (DAAD)

お問い合わせ先: daf2022-open\_AT\_jgg.jp (\_AT\_は@)